

Asahi**KASEI**



# 中期経営計画「Growth Action – 2010」 の見直しと今後の展望

2009年7月  
旭化成株式会社  
IR室

証券コード: 3407

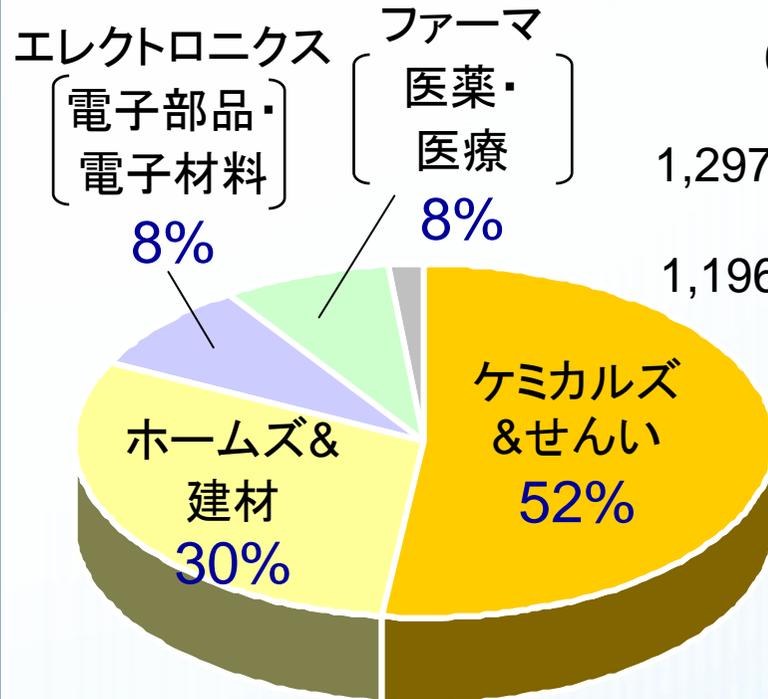
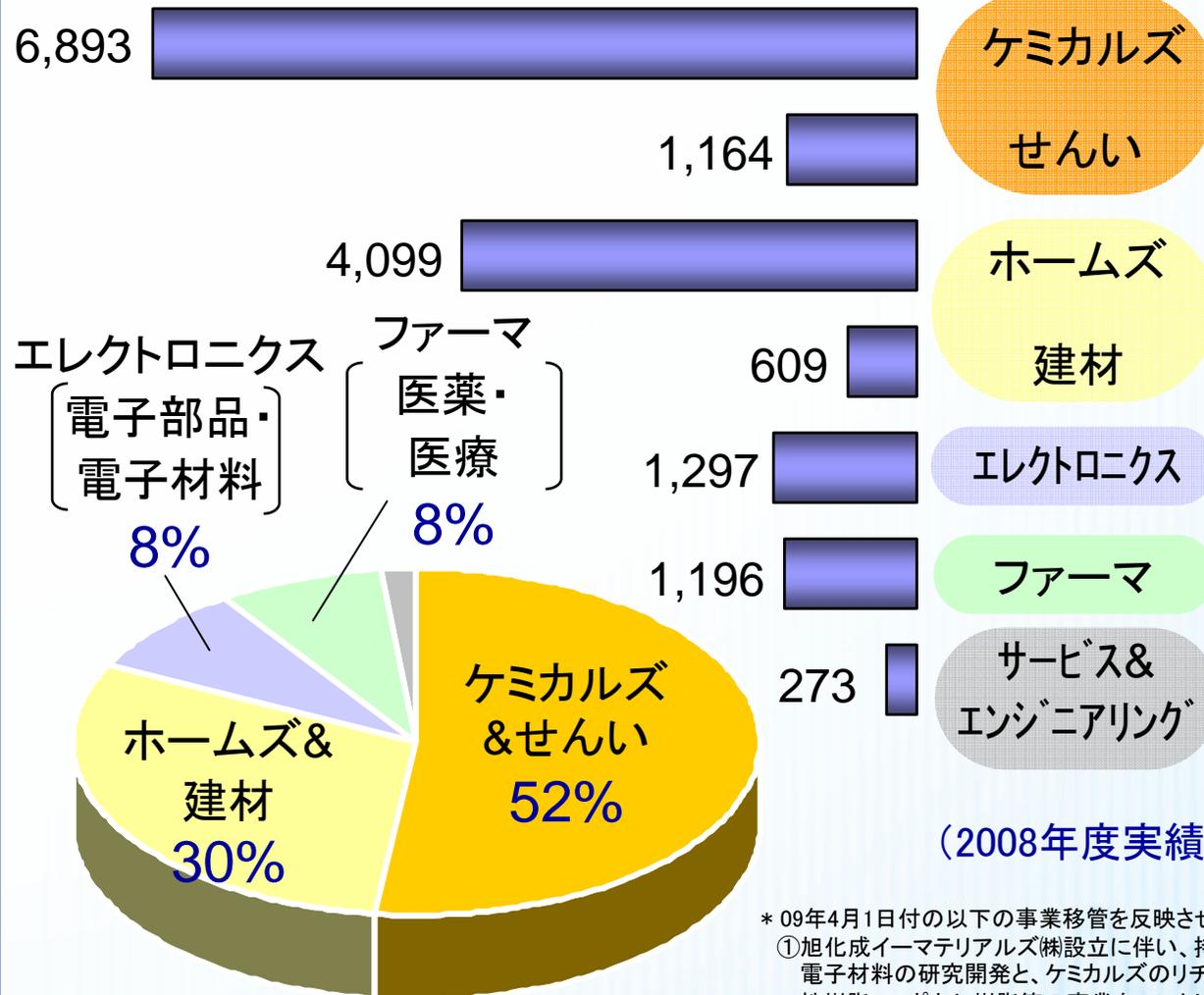
1. 旭化成とは	4-9
2. 中期経営計画 「Growth Action – 2010」の概要	11-14
3. 課題認識と今後の展望	16-22
4. 高成長追求事業のグローバル 拡大戦略	24-29
5. 目指す企業像	31
6. 株主還元の考え方	33

# 1. 旭化成とは

# 住宅とLSIを持つ総合化学メーカー

AsahiKASEI

連結売上高 15,531億円



[領域別売上高比率]

- ケミカルズ  
せんい
- ホームズ  
建材
- エレクトロニクス
- ファーマ
- サービス&  
エンジニアリング



(2008年度実績\*、億円)

\* 09年4月1日付の以下の事業移管を反映させて組み替えた後の金額。  
 ①旭化成イーマテリアルズ(株)設立に伴い、持株会社の実装・表示材料マーケティングセンター等電子材料の研究開発と、ケミカルズのリチウムイオン2次電池用セパレータ「ハイポア™」、感光性樹脂、エポキシ樹脂等の事業をエレクトロニクスセグメントへ移管。  
 ②ケミカルズのナイロン66繊維「レオナ™」をせんいへ移管。

# グローバルNo.1、No.2の事業

AsahiKASEI

ケミカルズ  
せんい

AN  
イオン交換膜  
ロイカ™ \*  
ベンベルグ™

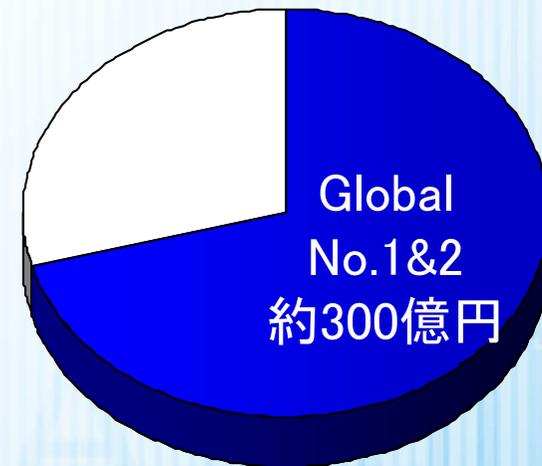
ファーマ

人工腎臓  
プラノバ™  
セパセル™

エレクトロニクス

ハイポア™  
感光性ドライ  
フィルムレジスト  
パイメル™  
ペリクル  
磁気センサ  
LSI \*\*

2008年度営業利益構成  
（「全社及び消去」セグメントを除くベース）

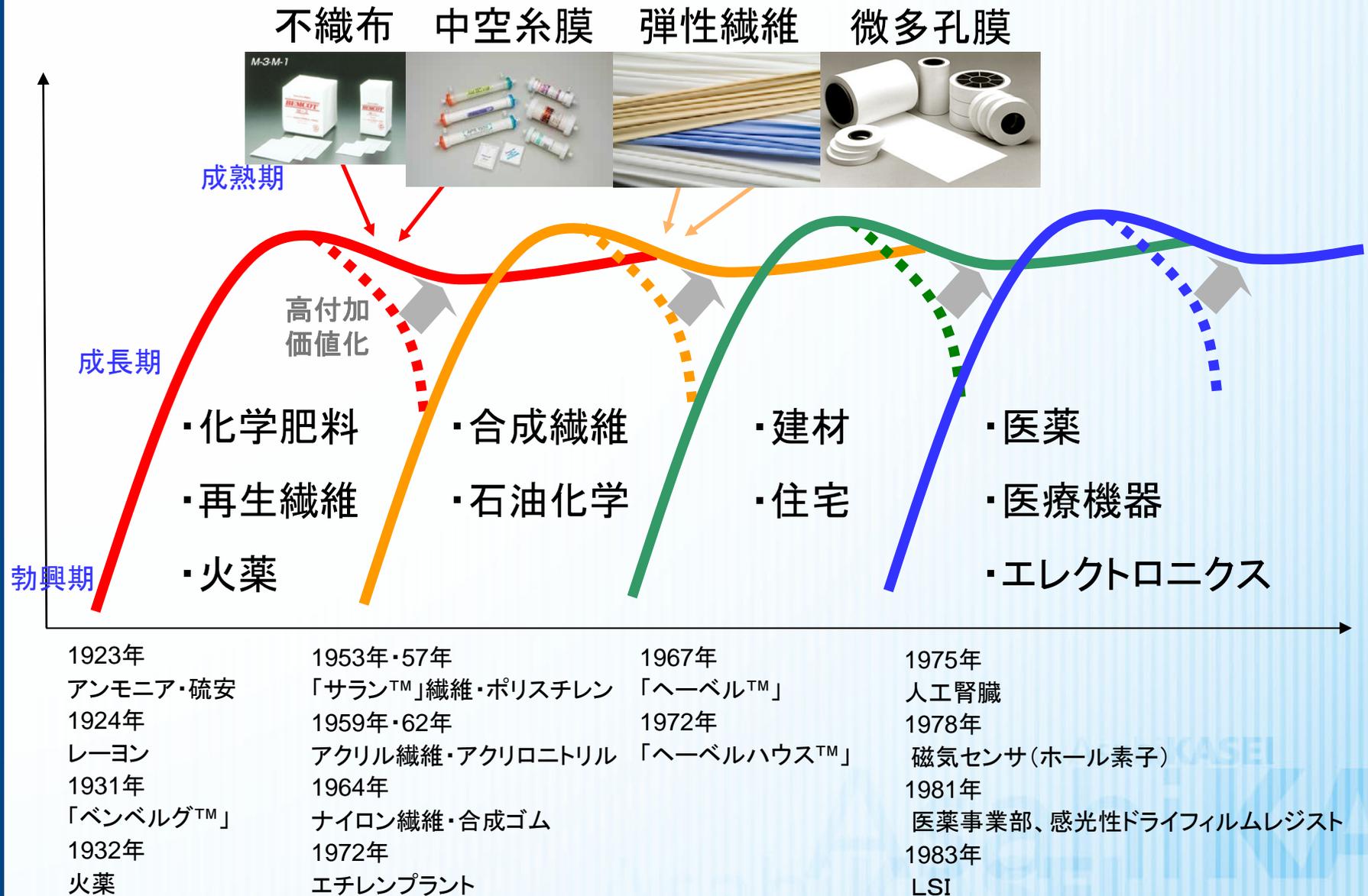


\* 高価格帯の高品質系

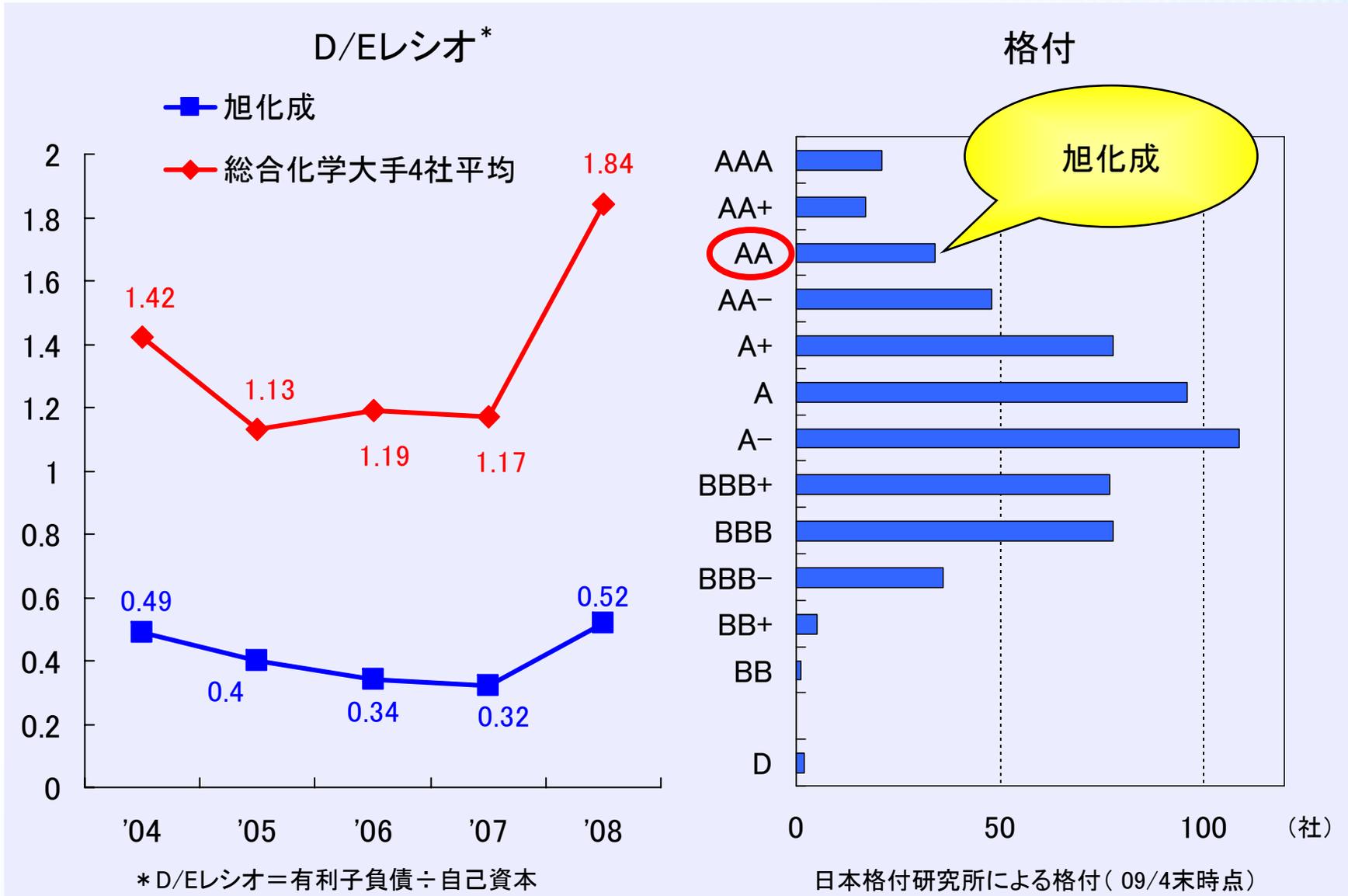
\*\* オーディオ系ミックスドシグナルLSI、温度補償型水晶発振器用LSI、電子コンパス

# 多角化と高付加価値化による成長の歴史

AsahiKASEI



# 強固な財務体質



科学と英知による絶えざる革新で、  
人びとの「いのち」と「くらし」に貢献します

## 市場の要請

- ✓ 地球環境保全
- ✓ 情報・通信
- ✓ 健康
- ✓ 快適住生活



## 多彩な技術

- |              |                   |
|--------------|-------------------|
| ✓ 触媒・プロセス    | (例)<br>アクリロニトリル   |
| ✓ 化学合成・材料    | 感光性ドライフィルムレジスト    |
| ✓ ポリマー加工     | リチウムイオン二次電池用セパレータ |
| ✓ 薄膜・微細加工    | 磁気センサ             |
| ✓ 回路設計・LSI製造 | ミックスシグナルLSI       |

## 多様な事業モデル

# 環境との調和を考えた事業経営

AsahiKASEI

## 再生可能エネルギーを利用した事業

- 水力発電(1906年)
- アンモニア(1923年)
- 「ベンベルグ™」(1931年)

## 技術で環境に優しい事業

- イオン交換膜(1961年)
- ポリカーボネート樹脂(1999年)
- アジピン酸(1999年)\*

## 省エネ技術で環境に貢献する事業

- 「ヘーベルハウス™」(1972年)
- リチウムイオン二次電池用セパレータ(1977年)

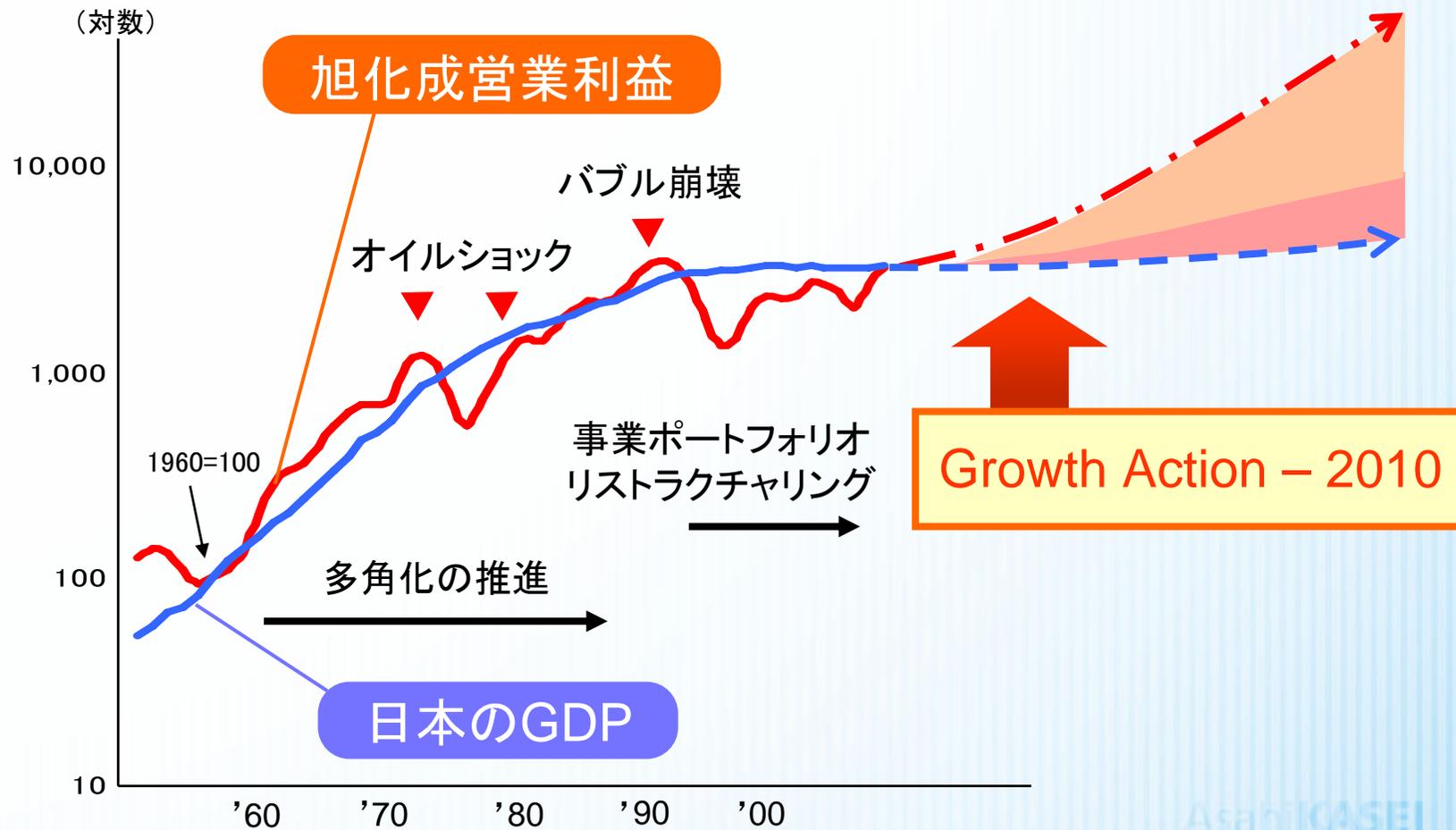
## 環境改善のための事業

- 水処理用中空糸ろ過膜(1976年)

\* アジピン酸生産プロセスから発生する温室効果ガス(N<sub>2</sub>O)を分解除去する装置を独自開発

## 2. 中期経営計画 「Growth Action – 2010」の概要

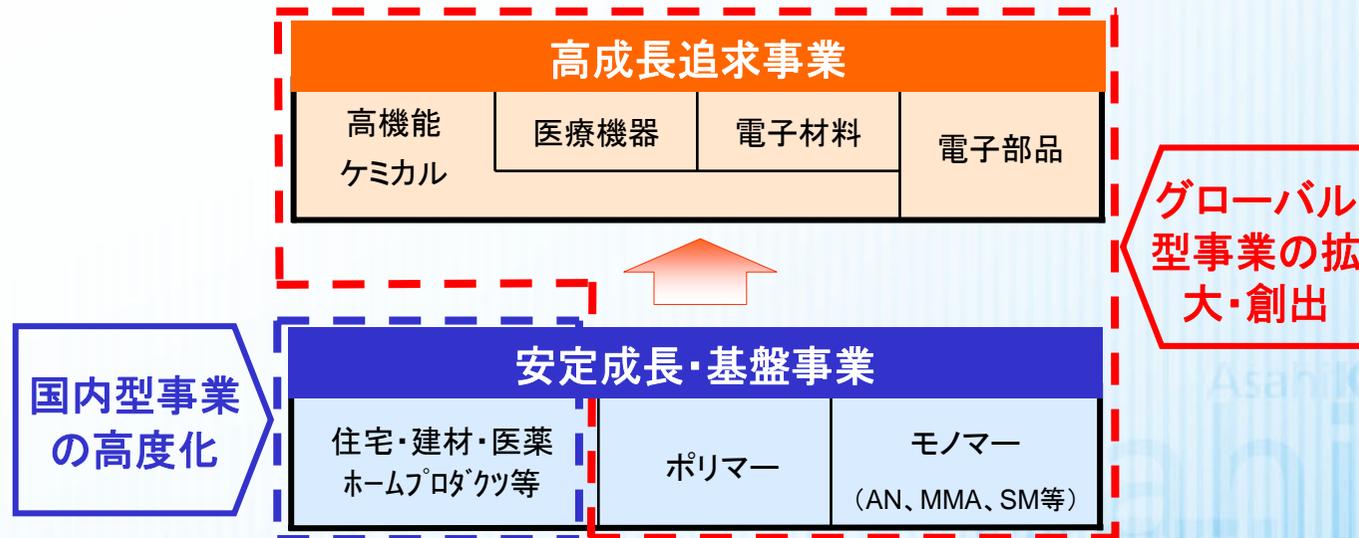
# GDPを上回る利益成長を目指す



(注) 営業利益は3年間の移動平均。1980年以前は「単独」値

# 新たなる成長への挑戦

AsahiKASEI



# 戦略投資による継続的利益成長と増配

(億円)

長期投資実績 (03-05年度)	700-800/年
追加戦略投資 (06-10年度、5年間)	4,000
長期投資合計 (06-10年度、5年間)	8,000

長期投資	2,200
M&A	1,500
増配原資	300

戦略投資

継続的利益成長

当期純利益成長率: 6%/年

継続的増配

配当性向の目安: 20~30%

自己株式取得

# 売上高2割増、営業利益4割増を目指す

AsahiKASEI

(億円)

	2005年度 実績	2007年度 実績	2008年度 実績	2010年度 目標*
売上高	14,986	16,968	15,531	18,000
営業利益	1,087	1,277	350	1,500
当期純利益	597	699	47	800
配当	10円	13円	10円	—
配当性向	23.6%	26.0%	259.0%	—
ROE	10.8%	10.7%	0.7%	10%以上
ROA	4.5%	4.8%	0.3%	5%以上

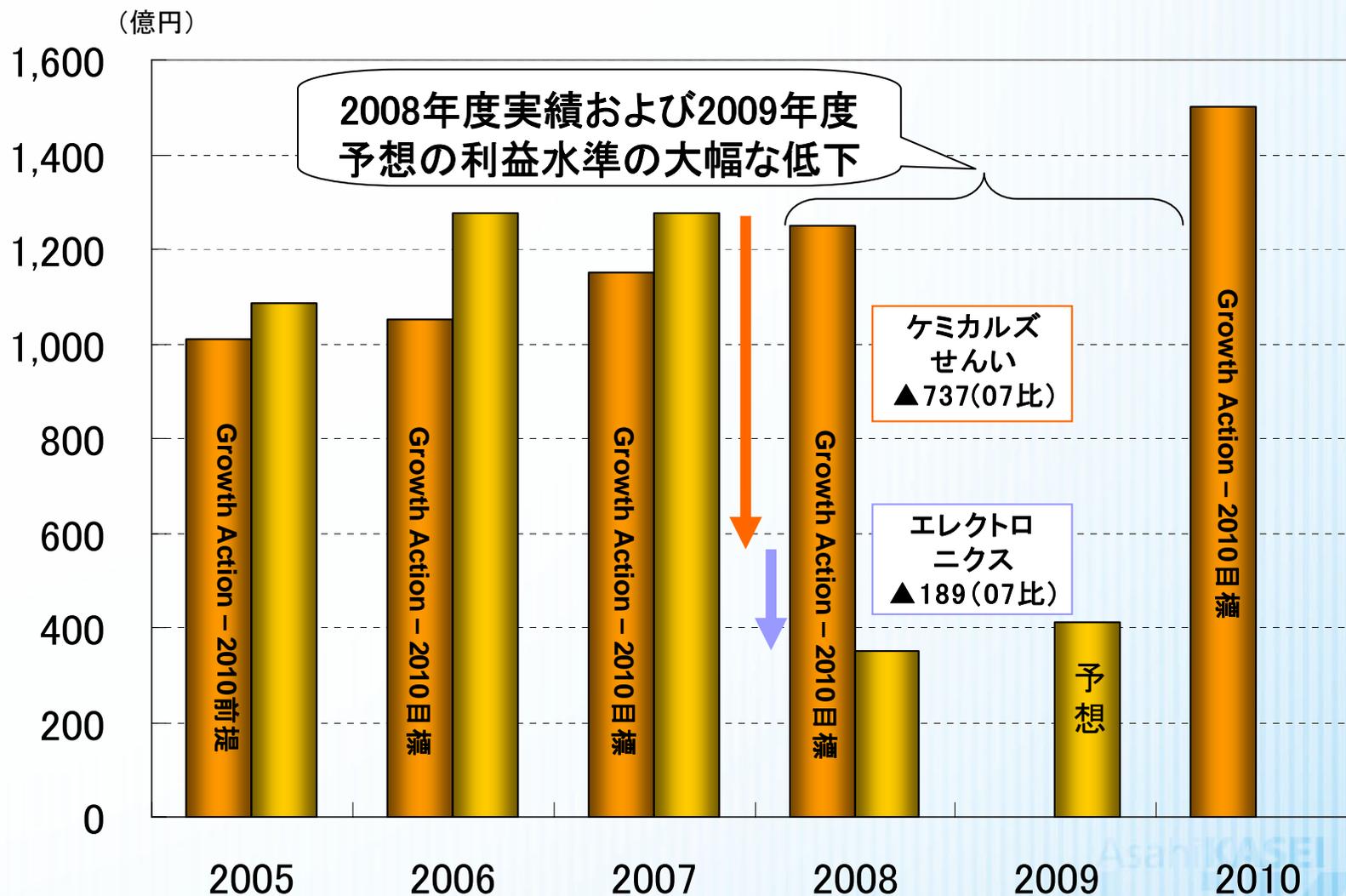
\* 2006年3月策定の目標。M&Aの実施効果は算入せず。

ROE = 自己資本当期純利益率 = 当期純利益 ÷ [(前期末自己資本 + 当期末自己資本) ÷ 2] × 100(%)

ROA = 総資産当期純利益率 = 当期純利益 ÷ [(前期末総資産 + 当期末総資産) ÷ 2] × 100(%)

### 3. 課題認識と今後の展望

# 営業利益の推移



営業利益	1,087	1,278	1,277	350	410
当期純利益	597	686	699	47	150



## 1)ケミカル領域、エレクトロニクス領域の売上高・利益 大幅減

### ✓ ケミカル領域

- ・ 景気変動を受けやすい汎用事業比率の高さ

### ✓ エレクトロニクス領域

- ・ 景気変動を受けやすい製品群
- ・ 新規事業の立ち上げの遅れ

## 2)ホームズ・建材事業の戦略強化

中長期的に縮小していく市場を前提とした事業構造への転換

## 3)財務体質の悪化

運転資金・戦略投資の過大による収益性の低下

# 今後の方針(課題への対応)

Growth Action – 2010  
 基本的考え方

高成長追求  
 ⇒ 「電子部品」「電子材料」  
 「医療」「高機能ケミカル」



[対応]

- 省エネルギー、省資源の観点からエレクトロニクス分野の拡充加速
- 高まるニーズを背景に、医薬・医療領域の拡大、グローバル化

- 事業のさらなる高度化加速(高付加価値化の徹底)

(例)ホームズ  
 より高機能で快適な住まいの追求  
 周辺事業(リフォーム、不動産など)の拡大

- 研究開発、M&Aにより、ポートフォリオ転換を加速

【追加事項】

- 汎用事業のスリム化
- 「利益率」「投資効率」重視

# 09年度以降の投資の考え方

## 財務体質

- A) D/Eレシオ(=有利子負債 ÷ 株主資本)を0.5以下に保ち資金の調達力を確保  
10年度までの投資総額6,700億円(=1,300億円減額)
- B) 売上減少に見合う運転資金の圧縮(在庫、売掛金等)
- C) 環境変化を踏まえた拡大投資の見直し

(決定ベース、億円)

	当初計画 a	08年度まで の実績	修正計画 b	対当初計画 増減 b-a
維持	2,000	1,250	1,950	▲ 50
拡大投資	3,600	1,988	2,400	▲ 1,200
研究開発	400	224	400	0
M&A	1,500	398	1,500	0
拡大 計	5,500	2,610	4,300	▲ 1,200
センター基盤	200	120	150	▲ 50
配当・構造改革等	300	170	300	0
合計	8,000	4,150	6,700	▲ 1,300

(09~10年度)  
700億円

1,690億円

2,550億円

# 2010年度見通しの修正

AsahiKASEI

事業領域	修正のポイント
ケミカルズ せんい	世界的な供給過剰を前提に、収益見通しを減額。 汎用事業のスリム化で、利益率の向上を推進。
ホームズ 建材	中長期的には縮小する市場環境にあるが、住宅周辺事業(リフォーム、不動産など)の拡大を通じて安定収益を確保(08年度利益レベル以上の確保)。
エレクトロ ニクス	急激な在庫調整が完了し、販売量が平常レベルに回復。 その後、市場変化に対応した製品群を揃え、再び増益基調を継続。
医薬・ 医療機器	・医薬: 当面は、2008年に発売した新薬(「リコモジュリン™」、「ファムビル™」)の 立ち上げと収益化を最優先 ・医療機器: グローバルに拡大

# 2010年度見通し(売上高・営業利益)

AsahiKASEI

(億円)

	売上高			営業利益		
	2008	2009	2010	2008	2009	2010
ケミカルズ・せんい	8,057	6,050	6,000～6,500	-80	130	160～230
ホームズ・建材	4,708	4,580	4,500～4,800	236	195	200～230
エレクトロニクス	1,297	1,450	1,500～2,000	73	80	180～240
医薬・医療	1,196	1,210	1,300～1,500	120	90	120～160
その他	273	260	200	-1	-85	-60
合計	15,531	13,550	13,500～15,000	350	410	600～800

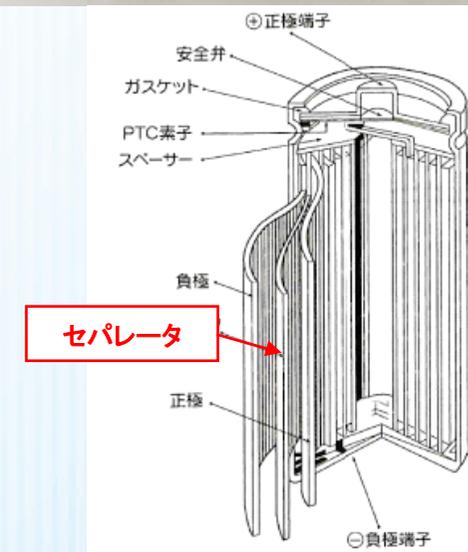
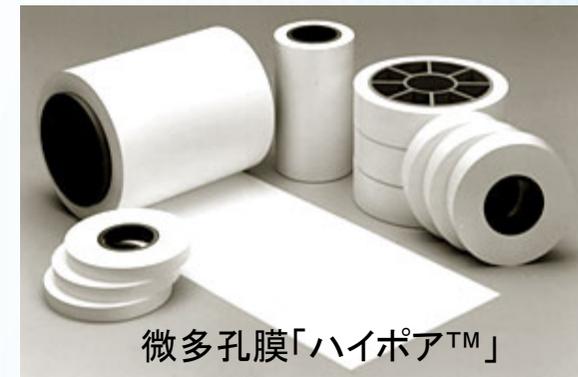
\* 2008年度は、09年4月1日付の以下の事業移管を反映させて組み替えた後の金額。

- 旭化成イーマテリアルズ(株)設立に伴い、旭化成(株)の実装・表示材料マーケティングセンター等電子材料の研究開発と、ケミカルズのリチウムイオン2次電池用セパレータ「ハイポア™」、感光性樹脂、エポキシ樹脂等の事業をエレクトロニクスセグメントへ移管。

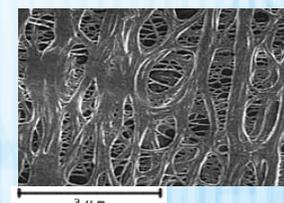
## 4. 高成長追求事業のグローバル 拡大戦略

# LIB\*用セパレータ「ハイポア™」の拡大

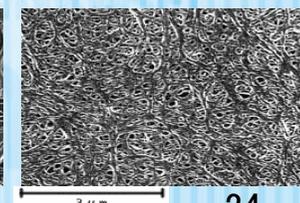
- ✓ 世界No.1、マーケットシェア50%
  - 高度な材料技術と加工技術
  - 多様なニーズに応える品揃え
- ✓ 需要増に対応して生産能力を増強  
年産1.2億m<sup>2</sup>を約2億m<sup>2</sup>へ
  - 3,000万m<sup>2</sup>(09年)・1,500万m<sup>2</sup>(10年)  
の増設(滋賀県守山市)
  - 2,000万m<sup>2</sup>(10年)の新工場設置後、  
2,000万m<sup>2</sup>(10年)の増設(宮崎県日向市)
- ✓ ハイブリッドカー、電気自動車向けの  
開発加速



大孔径タイプ



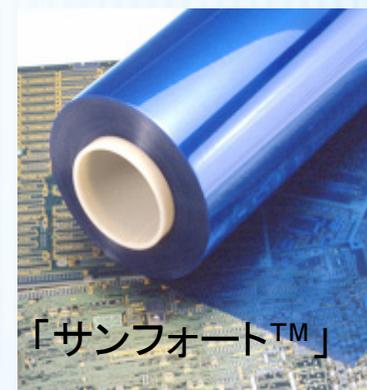
小孔径タイプ



\* 携帯電話やパソコンなどに使われるリチウムイオン二次電池

# 技術と市場を活かした電子材料の拡大

- ✓ プリント配線板用感光性ドライフィルムレジスト「サンフォート™」
  - 世界トップ3、シェア30%
  - 中国工場増設(世界最大、年産2.8億m<sup>2</sup>、08年6月)
- ✓ 超極薄ガラスクロス
  - 世界No.1
  - 薄型電子機器用配線基盤材料
- ✓ 半導体用バッファークोट材「パイメル™」
  - 感光性タイプ:世界No.1、アルカリ型での市場拡大
  - 工場新設による増強(08年2月)
- ✓ フォトマスク用防じんフィルム、ペリクル\*
  - 大型液晶ディスプレイ用ではほぼ独占、世界No.2
  - 第10世代(超大型ディスプレイ)対応ライン新設(08年11月)



\* 液晶ディスプレイ、半導体製造時のフォトマスク用防じんフィルム

# 市場を拓げるLSIと新電子部品

## ✓ アナログ・デジタル混載のLSI

- 携帯端末・オーディオ分野で積極展開  
オーディオ系ミックスドシグナルLSI(世界No.1)  
温度補償型水晶発振器用LSI(世界No.1)
- アナログの設計に強み、逐次能力増強
- 韓国、中国、台湾、欧州拠点の整備・強化
- 東光(株)からの半導体事業譲受



## ✓ モーター回転制御用磁気センサ(ホール素子)

- 世界No.1、マーケットシェア70%

## ✓ 新電子部品(LSIと磁気センサの複合部品)

- 携帯電話開閉スイッチ、  
デジカメ手ぶれ補正センサ、  
世界最薄最小電子コンパスの拡大



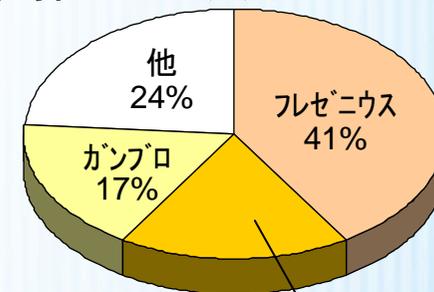
携帯電話用歩行ナビゲーションデモ画面

# 世界No.1を目指す医療機器事業

## ✓ 中空糸膜を使った人工腎臓(人工透析)

- 世界No.2、シェア18%、国内No.1、シェア40%
- ドライタイプの人工腎臓一貫工場新設(08年11月)
- クラレメディカルと透析事業の統合(07年10月)
- 透析事業を行っている米ネクステージメディカル社と提携

＜世界のマーケットシェア＞



旭化成クラレメディカル  
18%  
(シェアは旭化成推定)

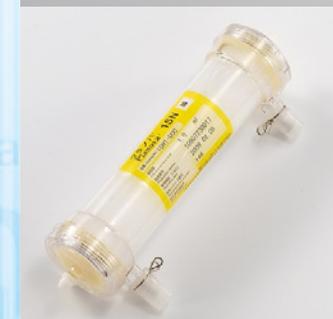
## ✓ 血液浄化治療事業の普及・拡大

- 潰瘍性大腸炎、慢性関節リウマチ、C型肝炎など

## ✓ 白血球除去フィルター「セパセル™」の拡大

## ✓ ウイルス除去フィルター「プラノバ™」の拡大

- 血しょう分画製剤、バイオ医薬品向けに需要拡大
- 紡糸工場増設(09年3月)、組立工場増設(10年3月)
- バイオ医薬品製造用装置会社の米テクニクロム社を買収



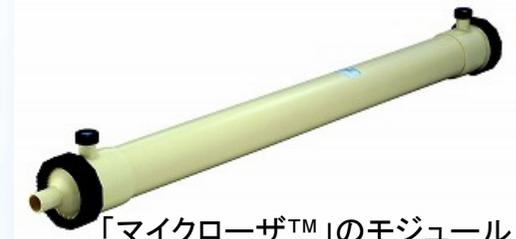
# 大量水処理用ろ過膜「マイクロザ™」

高機能ケミカル  
AsahiKASEI

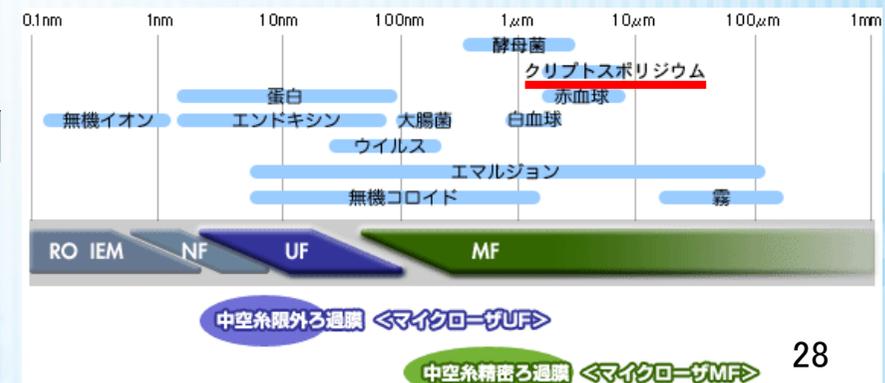
- ✓ 世界No.2、シェア18%
  - 高強度、優れる耐久性と耐薬品性
- ✓ 浄水、下水処理、排水処理で需要拡大
  - 北米: 上水道での病原虫除去の規制強化 (2011年までに99.9997%除去)
  - 中国: 水質汚染、水不足の深刻化
- ✓ 廃水リサイクル事業の開発加速
  - 中国: 廃水リサイクルサービス案件稼動開始(09年2月)
- ✓ 日本、中国2拠点の生産体制
  - 富士工場: 年産3万本
  - 中国工場: 年産3万本



テキサス州サンパトリシオ浄水場



「マイクロザ™」のモジュール



## 世界に拡大するイオン交換膜法食塩電解プロセス

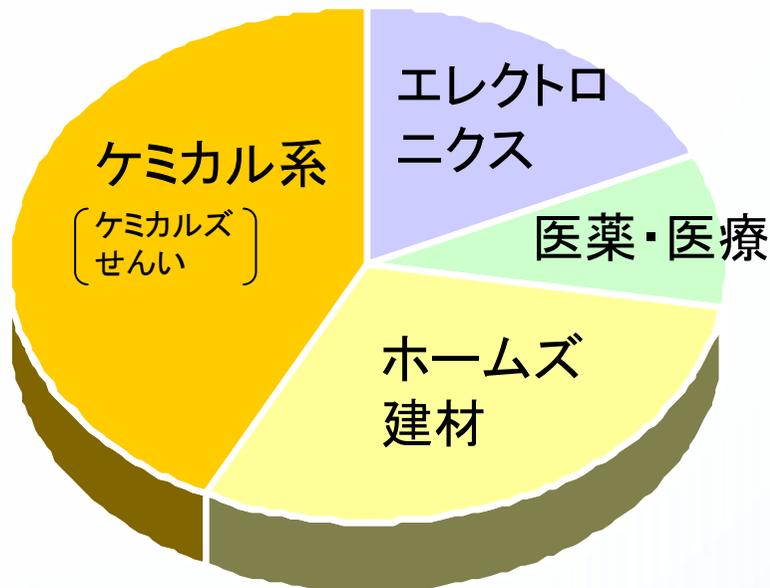
- ✓ イオン交換膜、シェア45%、電解プラント、シェア30%の世界No.1
- ✓ イオン交換膜法食塩電解プロセスとは、イオン交換膜を使用して、食塩水を電気分解し、基礎化学品の塩素とカ性ソーダを生産するシステム
- ✓ 従来の水銀法・隔膜（アスベスト使用）法に比べて有害物質を使用せず、環境に優しく、省エネルギーで、旭化成が世界で初めて開発・商業化した技術
  - 水銀法・隔膜法からの切替需要や新規需要が拡大中



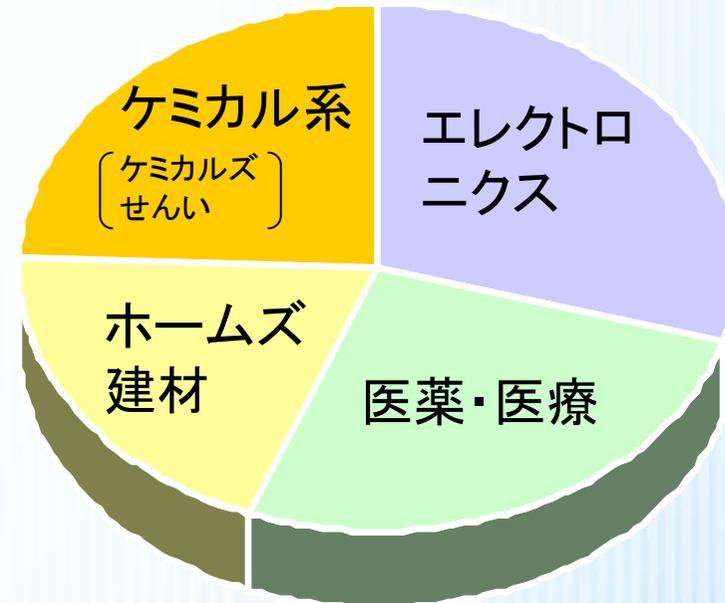
## 5. 目指す企業像

# 2015年に想定される営業利益の構成

ポートフォリオ転換の実現：4領域がほぼ均等



2005年



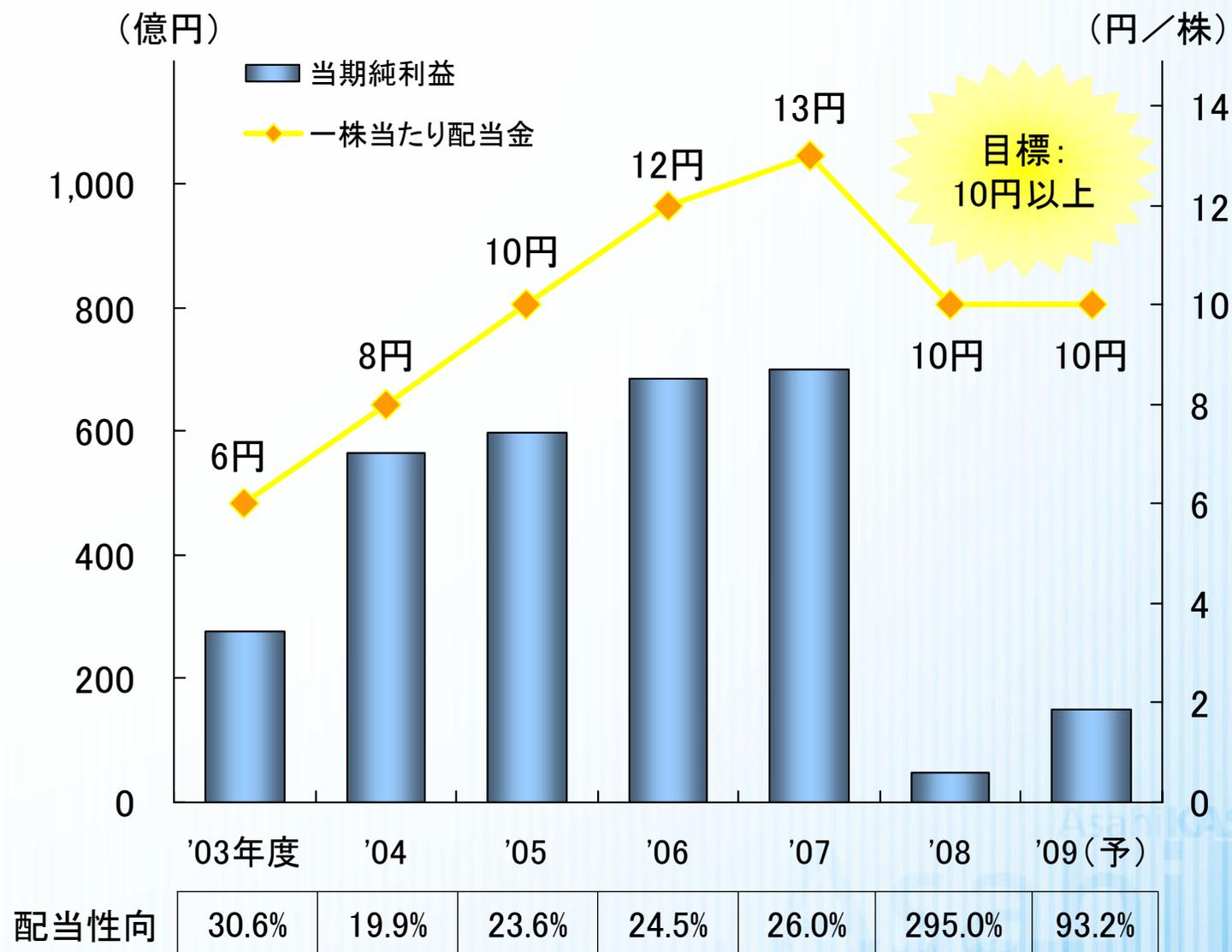
2015年のイメージ

- ✓ エレクトロニクス、医薬・医療が全体の半分以上を占める
- ✓ 投下資本に対する利益率を高める

資源や環境の問題に対応した、スピーディーで筋肉質な企業を目指し、次の成長に備える。

## 6. 株主還元の方

# 配当性向3分の1を目安とした配当



長期的にはROEを向上させ、配当性向向上を目指す

# 参考資料

# 領域別施策(1)

領域	実施済みの施策	今後の追加施策
<b>医薬・医療</b>  (医療系)     (医薬系)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 透析事業の拡大(中国生産・販売拠点確立、川澄化学工業(株)との提携)</li> <li>• ウイルス除去フィルター「プラノバ™」の能力増強</li> <li>• <b>バイオプロセス用装置事業を行っているテクニクコム社の買収</b></li> <li>• <b>先進医療機器事業への新規参入(植込み型心電用データレコーダ「リビール™DX」、補助人工心臓「エヴァハート™」)</b></li> <li>• <b>透析事業を行っているネクステージメディカル社との提携</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 透析事業のグローバル展開</li> <li>• <b>医療システムビジネスへの展開</b></li> <li>• アフェレシス事業*の拡大</li> <li>• M&amp;Aの追求</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>2新薬(抗血液凝固剤「リコモジュリン™」、抗ヘルペスウイルス剤「ファムビル™」)の承認取得</b></li> <li>• <b>排尿障害改善剤(ナフトピジル)の知的財産権等取得</b></li> <li>• 特薬事業からの撤退(白老工場閉鎖)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 国内の事業規模拡大(「リコモジュリン™」、開発中の2新薬)</li> <li>• 海外臨床への積極的取り組み</li> <li>• 新薬候補の導出入加速</li> </ul>
<b>エレクトロニクス</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>東光(株)半導体事業の買収</b></li> <li>• LSIの能力増強</li> <li>• 化合物半導体工場新設</li> <li>• <b>LiBセパレータ「ハイポア™」の能力増強</b></li> <li>• <b>感光性ドライフィルムレジストの能力増強</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>電子コンパスの本格展開開始</b></li> <li>• <b>ハイブリッドカー用LiBへのセパレータ参入</b></li> <li>• R&amp;Dの強化、高機能製品の拡大</li> <li>• M&amp;Aの追求</li> </ul>

\*血液浄化治療事業

# 領域別施策(2)

領域	実施済みの施策	今後の追加施策
ケミカルズ せんい	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>タイPTTプロジェクト契約締結(建設中)(AN、MMA)</b></li> <li>• HDI系ポリイソシアネート「デュラネート™」の中国工場新設</li> <li>• イオン交換膜の能力増強</li> <li>• ランクセス社からのスパンデックス事業(独・米拠点)買収</li> <li>• ポリエステル長繊維生産停止、モノフィラメント事業撤収</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 規模の最適化と競争力の強化               <ul style="list-style-type: none"> <li>-エチレンセンターを中心とする石化事業の効率化</li> <li>-フィードストックオーナーとの連携</li> </ul> </li> <li>• 水処理事業の育成</li> </ul>
ホームズ 建材	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 「街かどヘーベルハウス™」の展開</li> <li>• 住宅周辺事業の拡大</li> <li>• <b>建材事業の構造改革(軽量気泡コンクリート「ヘーベル™」白老工場からの撤収)</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 住宅周辺事業の更なる拡大</li> <li>• 戸建住宅事業での収益確保のための戦略強化</li> </ul>

グループ総合力を強化し、ポートフォリオ転換を加速

## 1) 持株会社に4事業領域の執行役員を設置

- ✓ 4事業領域(ケミカル・繊維、住宅・建材、エレクトロニクス、医薬・医療)を管轄する持株会社の執行役員を、各領域の事業会社社長から任命
- ✓ 全社視点での各領域への資源配分を推進(投資、人材、R&D)

## 2) 成長戦略加速のため、グループ横断的な新事業創出体制を構築(重点領域毎に事業開発・技術開発担当役員を設置する、等)

## 3) 新事業本部と経営戦略室の新事業創出機能の更なる強化

# 08年度事業領域別営業利益増減要因

AsahiKASEI

(億円)

	07年度	08年度	数量差	売値差	うち為替因	コスト差等	計
ケミカルズ	652	-4	-195	-72	-179	-389	-656
ホームズ	214	219	33	26	-	-54	5
ファーマ	127	120	88	-74	-26	-20	-6
せんい	72	-9	-31	-16	-29	-34	-81
エレクトロニクス	222	33	-51	-95	-35	-43	-189
建材	28	17	7	13	-	-31	-11
サービス・エンジニアリング等	52	56	4	0	0	1	5
消去又は全社	-90	-83	-	-	-	7	7
合計	1,277	350	-145	-219	-269	-563	-927

\* 09年4月1日付の事業移管組み替え前の金額。

# 09年度業績予想

AsahiKASEI

(億円)

	07年度	08年度			09年度(予)			増減 b-a
		上	下	計a	上	下	計b	
売上高	16,968	8,432	7,099	15,531	6,190	7,360	13,550	-1,981
営業利益	1,277	401	-52	350	50	360	410	60
経常利益	1,205	407	-82	325	40	350	390	65
当期純利益	699	234	-187	47	0	150	150	103

ナフサ価格(国産ナフサ¥/kl)	61,450	78,350	39,500	58,925	30,000	30,000	30,000	-28,925
為替レート(相場平均¥/\$)	114	106	95	101	95	95	95	-6

	07年度	08年度	09年度
1株当たり年間配当金	13円	10円	10円 (予定)
配当性向	26.0%	295.0%	93.2%

# 事業領域別売上高

AsahiKASEI

(億円)

	08年度			09年度(予)			増減 b-a
	上	下	計a	上	下	計b	
ケミカルズ *	4,221	2,672	6,893	2,380	2,530	4,910	-1,983
ホームズ	1,703	2,396	4,099	1,620	2,360	3,980	-119
医薬・医療	628	568	1,196	570	640	1,210	14
せんい *	641	523	1,164	560	580	1,140	-24
エレクトロニクス *	787	510	1,297	630	820	1,450	153
建材	313	296	609	300	300	600	-9
サービス・エンジニアリング等	139	134	273	130	130	260	-13
合 計	8,432	7,099	15,531	6,190	7,360	13,550	-1,981

\* 08年度は、09年4月1日付の以下の事業移管を反映させて組み替えた後の金額。

- ①旭化成イーマテリアルズ(株)設立に伴い、ケミカルズのリチウムイオン2次電池用セパレータ「ハイポア™」、感光性樹脂、エポキシ樹脂等の事業をエレクトロニクスセグメントへ移管。
- ②ケミカルズのナイロン66繊維「レオナ™」をせんいへ移管。

# 事業領域別営業利益

AsahiKASEI

(億円)

	08年度			09年度(予)			増減 b-a
	上	下	計a	上	下	計b	
ケミカルズ*	131	-196	-65	60	90	150	215
ホームズ	30	188	219	10	170	180	-39
医薬・医療	102	19	120	30	60	90	-30
せんい*	13	-28	-15	-25	5	-20	-5
エレクトロニクス*	126	-54	73	10	70	80	7
建材	8	8	17	5	10	15	-2
サービス・エンジニアリング等	31	26	56	5	5	10	-46
消去又は全社*	-40	-16	-55	-45	-50	-95	-40
合計	401	-52	350	50	360	410	60

\* 08年度は、09年4月1日付の以下の事業移管を反映させて組み替えた後の金額。

- ①旭化成イーマテリアルズ(株)設立に伴い、持株会社の実装・表示材料マーケティングセンター等電子材料の研究開発と、ケミカルズのリチウムイオン2次電池用セパレータ「ハイポア™」、感光性樹脂、エポキシ樹脂等の事業をエレクトロニクスセグメントへ移管。
- ②ケミカルズのナイロン66繊維「レオナ™」をせんいへ移管。

# 緊急対策の具体的目標

09年の業績目標を達成すべく、以下の対策を実施する。

## ✓ 汎用事業の見直し

事業ポートフォリオ転換の加速(課題事業の構造改善を含む)

＜既に意思決定した件名＞

- ① ポリエステル長繊維の生産停止
- ② モノフィラメント事業からの撤退
- ③ 特薬事業(コエンザイムQ10)からの撤退
- ④ 軽量気泡コンクリート・白老工場の閉鎖

他案件、検討中

✓ 固定費の削減 ▲約135億円(減価償却費の増 36億円を含む)

## ✓ 設備投資の削減

- 08年度実績 1,267億円→09年度予定 900億円

(汎用系事業の拡大投資は保留。高成長追求事業の投資は、事業の状況を考慮しながら慎重に進めていく。)

## ✓ 在庫(棚卸資産)の圧縮

- 08年12月末 09年3月末 09年9月末目標 10年3月末目標  
3,249億円 → 2,735億円 → 2,500億円 → 2,400億円

✓ 役員報酬の減額 ▲10%~20%

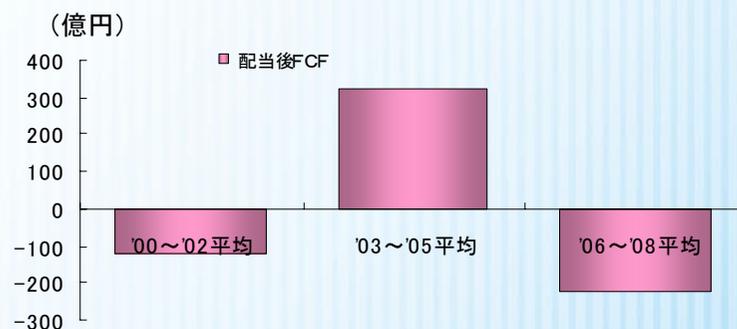
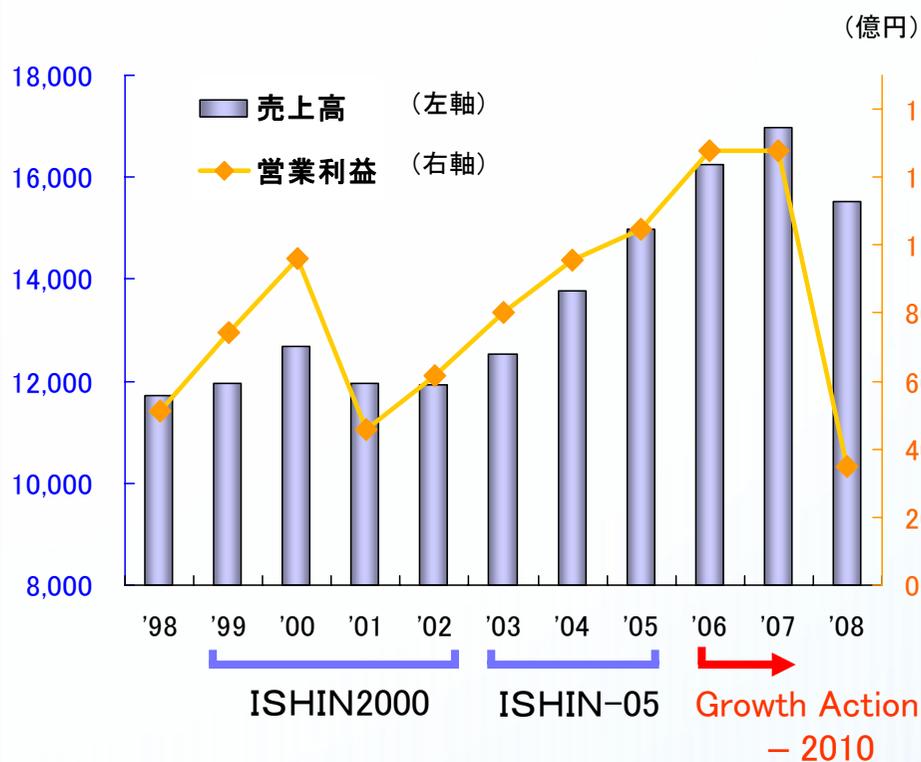
# 設備投資額の推移

AsahiKASEI

(億円)

	06年度 実績	07年度 実績	08年度 実績	09年度 予想
設備投資額 (決定ベース)	838	1,452	1,050	675
設備投資額	844	829	1,267	900
減価償却費	716	740	794	830
投資有価証券の取得 (支払ベース)	30	21	175	130

# 業績、財務体質の推移



(注)03年度から05年度の営業利益は、数理計算上の差異を翌年度に一括償却する方法をとっていたため、その償却額を除いた数値を記載。

ISHIN-05  
Growth Action - 2010

# ケミカルズの事業ポートフォリオ

AsahiKASEI

基礎・モノマー系		ポリマー・エラストマー系		高付加価値系	
基礎原料	苛性ソーダ・塩素	汎用	ポリエチレン	膜	マイクロザ™ (大量水処理用ろ過膜(MF、UF))
	アンモニア	ポリマー	ABS・AS樹脂		イオン交換膜及び装置
	硝酸		SBラテックス	機能化学品	デュラネート™ (HDI系ポリイソシアネート)
			MMAペレット・シート		アルミペースト
			合成ゴム・エラストマー	添加剤	セオラス™ (結晶セルロース)
モノマー	アクリロニトリル (AN)	機能樹脂	テナック™ (ポリアセタール樹脂)	火薬	火薬・金属加工
	スチレンモノマー (SM)	・コンパウンド	ザイロン™ (変性PPE樹脂)	消費材	サランラップ™ (食品包装用ラップ)
	MMAモノマー		レオナ™ (ナイロン66樹脂)		パッケージング材料
	シクロヘキサノール				
	アジピン酸				
売上高構成比	70%			売上高構成比	30%

\* 売上高構成比は2008年度実績をベースに計算。

# ケミカルズの汎用製品

AsahiKASEI

2008.12.31現在

	旭化成ケミカルズ		同業大手			当社の主要ユーザー	当社のポジション
	生産能力 (kt/y)	シェア (%)	社名	生産能力 (kt/y)	シェア (%)		
AN	750	13	Ineos	1,240	21	アクリル繊維、ABS、自消(ABS、アジポニトリル)	世界No.2メーカー
SM	710	2	Shell	2,468	8	発泡PS、ABS、SBラテックス、不飽和ポリエステル、SBR、自消(PS、ABS、SBラテックス、SBR)	国内生産能力No.1
			Ineos	2,052	7		
			DOW	2,019	7		
MMA モノマー	100	3	Lucite	729	21	MS、MBS、塗料メーカー、自消(MMAポリマー)	現ポジションは高くないが、自社技術でコスト競争力ある直メタプロセスを採用
			Roam & Haas	475	13		
シクロヘキサノール	170	-	-	-	-	自消(アジピン酸)	シクロヘキサノールの世界唯一のメーカー(自社技術)
アジピン酸	170	6	INVISTA	1,030	37	ウレタンメーカー、自消(ナイロン66)	アジアNo.1メーカー
			Rhodia	455	16		
エラストマー	100	5	KRATON	405	19	樹脂改質メーカー	自社技術によるユニークポリマーで市場展開
			Philips	170	8		

(注1)シェアおよび同業大手生産能力は推定ベース

(注2)シェアは生産能力シェア

# ケミカルズの高付加価値事業

AsahiKASEI

分野	製品	業界ポジション
膜	マイクロザ™(分離膜)	世界No.2 18%シェア
	イオン交換膜(食塩電解)	世界No.1 45%シェア
	イオン交換膜法食塩電解プラント(累積ベース)	世界No.1 30%シェア
機能化学品	デュラネート™(HDI系ポリイソシアネート)	国内No.1
	アルミペースト	国内No.2
	アクリルラテックス、サランラテックス	サランラテックス: 世界No.2 20%シェア
添加剤	セオラス™(結晶セルロース)	世界No.3

## 世界No.1を目指すアクリロニトリル\*(AN)

- ✓ 世界No.2 → No.1を目指す
  - 生産能力: 年産75万トン、シェア13%
  - 優れた触媒でコスト競争力No.1
- ✓ 世界初のプロパン法を開発
- ✓ タイ国PTT社とAN、MMAの共同事業化
  - ANはプロパン法で年産20万トン
  - MMAはANの副生品利用で年産7万トン  
(2010年末稼動開始予定)



\* アクリロニトリルとは、毛布やセーターに使われるアクリル繊維、家電製品などに使われるプラスチックであるABS樹脂の製造用原料。無色透明の液体。

## 強みを生かして独自展開する繊維

- ✓ 高機能スパンデックス「ロイカ™」
  - 独ランクセス社より独・米拠点を買収(05年11月)  
「ロイカ™」技術を導入した生産体制整備
  - 世界No.3、高機能・高品質ブランドをグローバルに展開  
(生産拠点:日本、台湾、中国、タイ、独国、米国)
- ✓ 再生セルロース繊維「ベンベルグ™」
  - 圧倒的世界No.1
  - 国内裏地用途から他用途・海外向けに展開、拡大
- ✓ 多様な品揃えを持つ不織布
  - スパンボンド不織布「プレシゼ™」を中心とした拡販



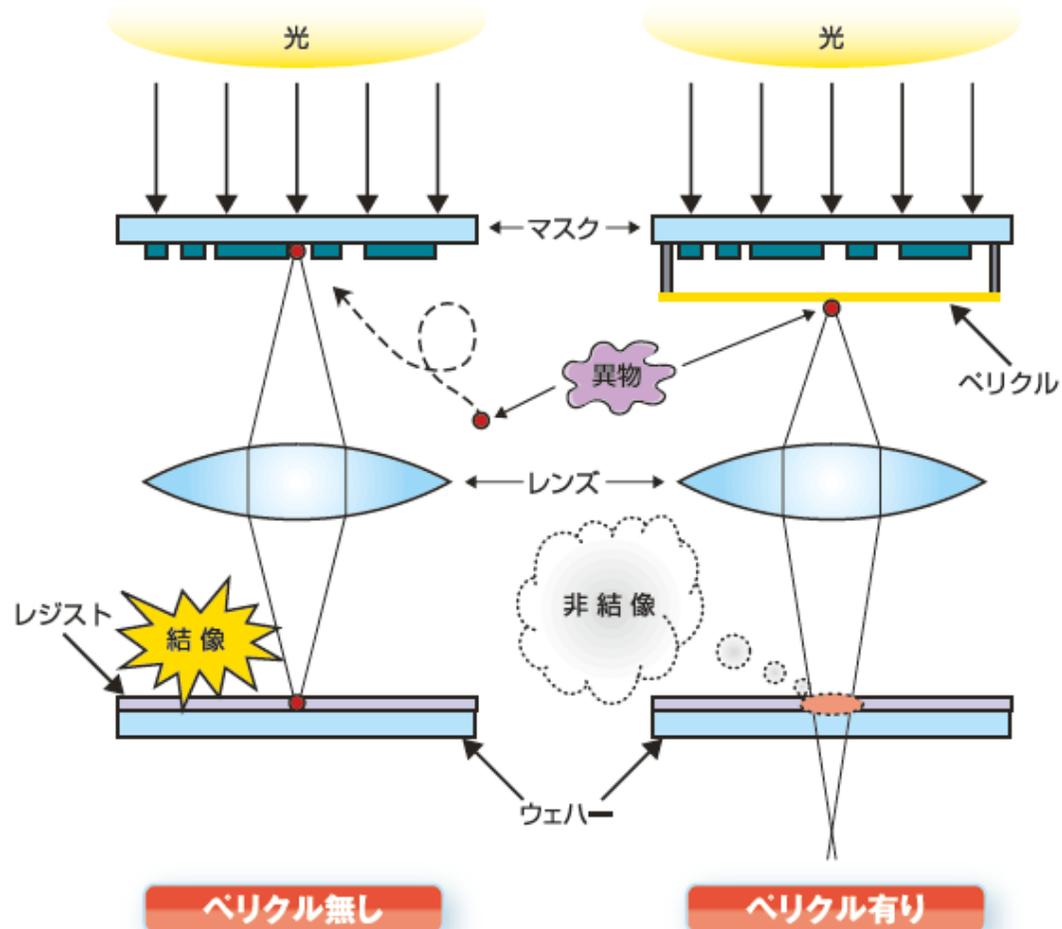
# エレクトロニクス領域の事業

領域	製品	業界ポジション
部品	LSI	ミックスドシグナルLSIの以下の製品群で世界No.1 (TCXO*向けLSI、電子コンパス、オーディオ系デバイス)
	ホール素子(磁気センサ)	世界No.1 70%シェア
材料	ハイポア™ (LiB用セパレータ)	世界No.1 50%シェア
	感光性ドライフィルムレジスト	世界トップ3 30%シェア
	ガラスクロス	超極薄ガラスクロス:世界No.1
	パイメル™ (半導体用バッファークコート)	感光性タイプ:世界No.1
	ペリクル(フォトマスク用防塵フィルム)	世界No.2 液晶パネル用:世界No.1
	APR™ (液状感光性樹脂)、AFP™ (板状感光性樹脂)	APR™: 世界No.2

\* 温度補償型水晶発振器

# フォトマスク防塵フィルム、ペリクルの原理 AsahiKASEI

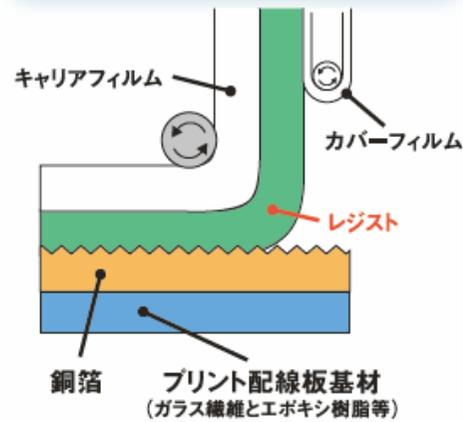
**LSI/LCD製造用フォトマスクのゴミトラブルを大幅に軽減します**  
(半導体／液晶ディスプレイ)



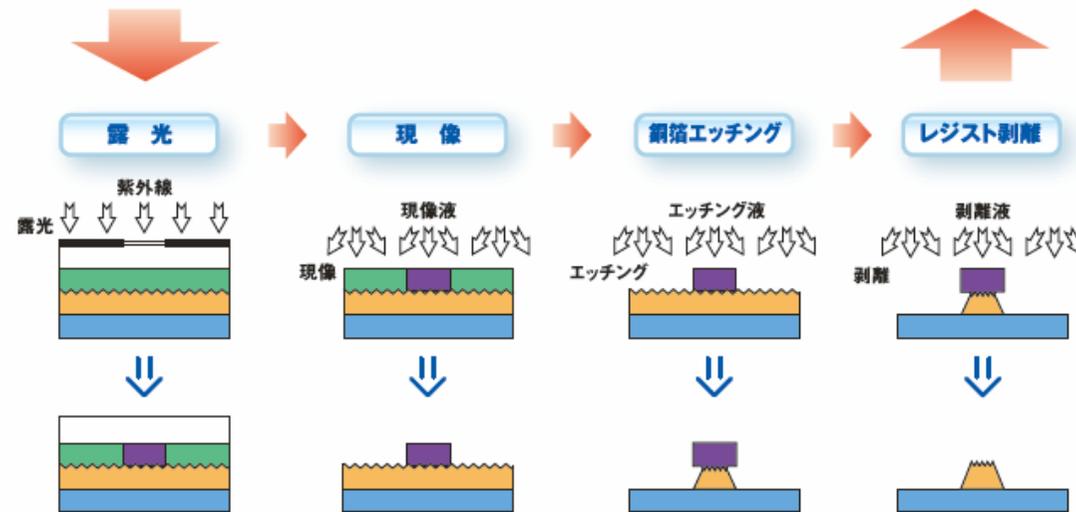
# 感光性ドライフィルムレジストの使用例

## ドライフィルムレジストによるプリント配線板の配線形式

### 「サンフォート™」のラミネート



LSI等を実装されたプリント配線板



# 携帯電話での当社電子部品の使用例

AsahiKASEI



# 特定領域<sup>\*</sup>でのスペシャリティファーマを目指す

AsahiKASEI

## 主要医薬品一覧

	一般名	薬効・作用の分類	適応症	剤型	共同開発会社
エルシトニン <sup>TM</sup> 注 20S エルシトニン <sup>TM</sup> 注 20Sディスポ	エルカトニン	骨そしょう症治療剤	骨粗鬆症における疼痛	注射剤	—
ブレディニン <sup>TM</sup>	ミゾリビン	免疫抑制剤	慢性関節リウマチ、腎移植、ネフローゼ症候群、ループス腎炎	錠剤	—
フリバス <sup>TM</sup>	ナフトピジル	$\alpha$ 1ブロッカー	前立腺肥大症に伴う排尿障害	錠剤	—
トレドミン <sup>TM</sup>	塩酸ミルナシプラン	セロトニン・ノルアドレナリン再取込阻害剤(SNRI)	うつ病・うつ状態	錠剤	—
エクサシン <sup>TM</sup>	硫酸イセパマイシン	アミノグリコシド系抗生物質	感染症	注射剤	シェリングプラウ
ゼスラン <sup>TM</sup>	メキタジン	アレルギー性疾患治療剤	気管支喘息・アレルギー性鼻炎他	錠剤・シロップ・小児用細粒	アルフレッサファーマ
エリル <sup>TM</sup>	塩酸ファスジル	ローキナーゼ阻害剤	くも膜下出血術後の脳血管れん縮及びこれに伴う脳虚血症状の改善	注射剤	—

\* 整形、泌尿器、中枢神経

# ファーマの新薬とパイプライン

## 08年度発売の医薬品

	一般名	薬効・作用の分類	適応症	剤型	共同開発会社
リコモジュリン®点 滴静注用12800 (08年5月発売)	トロンボモデュリン アルファ(遺伝子組換え)	抗血液凝固剤	DIC(汎発性血管内血液凝固症候群)	注射剤	—
ファムビル®錠 250mg (08年7月発売)	ファムシクロビル	抗ウイルス剤	帯状疱疹	錠剤	(提携) ノバルティス ファーマ

## 研究開発の状況

	品目	区分	剤名	適応症
フェーズⅢの品目	①AT-877注	適応拡大	(ローキナーゼ阻害剤)	急性期脳血栓症
	②PTH注	新成分新薬	(副甲状腺ホルモン)	骨粗鬆症
フェーズⅢ準備中	①AK-120錠	適応拡大	(抗ヘルペスウイルス剤)	単純疱疹
フェーズⅡの品目	①AT-877錠	剤形追加 適応拡大	(ローキナーゼ阻害剤)	肺高血圧症
フェーズⅡ準備中	①AK-150注	新成分新薬	(ポリ硫酸ペントサン)	変形性関節症

探索・基礎研究 世界に通用する新薬の創製を目指し、創薬基盤技術を拡充・整備しつつ、整形領域疾患にフォーカスを当てた新規物質の探索研究を鋭意行っている。

# ロングライフ住宅「ヘーベルハウス™」

AsahiKASEI

## － ハード －

都市型高級住宅

優れた耐震・耐火性能  
制震デバイスと「ヘーベル™」版

施工・物流の革新  
住宅部材の共同購買

新商品「スマートヘーベルハウス™」

## － ソフト －

住まい方の提案  
二世帯住宅、3階建て

“太陽と風の家”  
通風・採光シミュレーション

60年点検システム

## － 営業戦略 －

関東以西都市部での展開

建替へのフォーカス  
3大都市圏に700万戸以上ある耐震基準  
を満たさない住宅

「街かどヘーベルハウス™」

先端の環境設備機器を搭載した  
「発電ヘーベルハウス™」

## － スtockビジネス －

リフォーム新ビジネスモデル

中古物件の仲介  
「ストックヘーベルハウス™」

ファイナンシャルサービス  
長期固定低金利の証券化ローンを提供



# ホームズ売上高、受注状況

AsahiKASEI

(単位: 億円、( )内は対前年同期比)

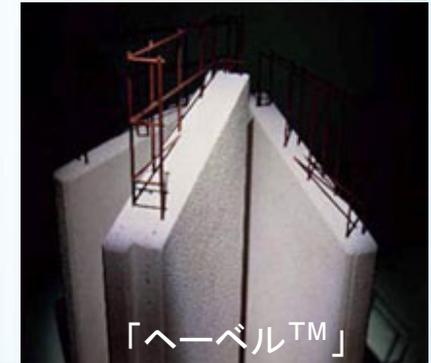
		請負受注高	請負売上高	分譲売上高	他*	単独計	関係会社等	連結計	受注残
04	上期	1,531 (▲5.2%)	1,389 (14.6%)	66 (25.3%)	5	1,460 (15.0%)	213 (1.9%)	1,673 (13.2%)	3,332
	下期	1,487 (▲5.1%)	1,719 (7.5%)	136 (▲55.9%)	6	1,860 (▲2.8%)	225 (0.9%)	2,085 (▲2.3%)	3,101
	通期	3,018 (▲5.1%)	3,107 (10.6%)	201 (▲44.1%)	11	3,320 (4.3%)	438 (1.6%)	3,758 (4.0%)	
05	上期	1,504 (▲1.7%)	1,402 (0.9%)	205 (213.0%)	4	1,611 (10.4%)	242 (13.6%)	1,853 (10.8%)	3,204
	下期	1,629 (9.5%)	1,793 (4.3%)	131 (▲3.6%)	6	1,930 (3.8%)	262 (16.4%)	2,192 (5.1%)	3,040
	通期	3,133 (3.8%)	3,194 (2.8%)	336 (67.0%)	11	3,541 (6.7%)	504 (15.1%)	4,045 (7.7%)	
06	上期	1,561 (3.7%)	1,347 (▲3.9%)	60 (▲70.9%)	5	1,411 (▲12.4%)	280 (15.7%)	1,691 (▲8.7%)	3,253
	下期	1,473 (▲9.6%)	1,829 (2.0%)	230 (75.8%)	5	2,064 (6.9%)	302 (15.3%)	2,366 (7.9%)	2,898
	通期	3,034 (▲3.2%)	3,176 (▲0.6%)	289 (▲13.8%)	10	3,475 (▲1.9%)	582 (15.5%)	4,057 (0.3%)	
07	上期	1,536 (▲1.5%)	1,312 (▲2.6%)	50 (▲16.5%)	4	1,366 (▲3.2%)	303 (8.2%)	1,669 (▲1.3%)	3,123
	下期	1,525 (3.5%)	1,659 (▲9.3%)	195 (▲15.1%)	5	1,860 (▲9.9%)	333 (10.3%)	2,193 (▲7.3%)	2,988
	通期	3,061 (0.9%)	2,971 (▲6.5%)	245 (▲15.4%)	10	3,225 (▲7.2%)	637 (9.5%)	3,862 (▲4.8%)	
08	上期	1,571 (2.3%)	1,294 (▲1.4%)	60 (19.7%)	7	1,360 (▲0.4%)	343 (13.2%)	1,703 (2.0%)	3,266
	下期	1,339 (▲12.1%)	1,779 (7.2%)	240 (22.8%)	9	2,027 (9.0%)	369 (10.8%)	2,396 (9.3%)	2,826
	通期	2,911 (▲4.9%)	3,073 (3.4%)	299 (22.2%)	15	3,387 (5.0%)	712 (11.8%)	4,099 (6.1%)	
09予	通期	3,090 (6.2%)	2,860 (▲6.9%)	355 (18.6%)	15	3,230 (▲4.6%)	750 (5.3%)	3,980 (▲2.9%)	3,056

\* 他: 損害保険販売手数料収入等

## 高付加価値で環境重視の建材製品

AsahiKASEI

- ✓ 軽量気泡コンクリート「ヘーベル™」
  - ALC(軽量気泡コンクリート)国内No.1
  - 耐火性、断熱性に優れ、軽量かつ高耐久の建材
- ✓ 断熱材「ネオマ™フォーム」
  - 世界トップレベルの高い断熱性能を長期で維持
  - 環境にやさしいノンフロン発泡
  - 炎をあてても燃え広がらず炭化するだけの高い耐燃焼性能
- ✓ パイル「EAZET™・ATTコラム™・DYNAWING™」など
  - 低騒音・低振動・低排土など環境重視型の杭工法
  - 高い現場適応力と信頼性で建築分野、土木分野に展開



予想・見通しに関する注意事項：  
当資料に記載されている予想・見  
通しは、種々の前提に基づくもの  
であり、将来の計画数値、施策の  
実現を確約したり、保証したりする  
ものではありません。